

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社共立メンテナンス（証券コード:9616）

【据置】

| | |
|---------|-----|
| 長期発行体格付 | BBB |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | BBB |

■格付事由

- (1) 学生・社員向け寮の管理運営を行う最大手。ビジネスホテルの「dormy inn」やリゾートホテルの「共立リゾート」も展開する。寮事業は長年の実績を背景に多くの提携大学や契約先を有し、良好な事業基盤を持つ。ホテル事業はこだわりの食事や風呂などの差別化施策が奏功し、顧客から高い支持を受けている。
- (2) 主力事業である寮事業とホテル事業の利益は好調に推移している。当面、ホテル事業における開業費が増加する見通しだが、自社開発物件の不動産流動化による利益創出により、増益基調を維持する見込みである。一方、中期的に積極的な出店投資を行う方針であり、実質的な財務構成の改善ペースは緩やかにとどまるとみられる。以上から、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 19/3期の営業利益は143億円（前期比9.3%増）の計画であり、8期連続で最高益を更新する見通しである。ホテル事業では関西や北海道などで自然災害の影響を一時的に受けたが、その後は順調に推移しているほか、不動産流動化に伴う利益が寄与する見込みである。20/3期は緩やかな増益が予想される。リゾートホテルなどの開業費負担が生じるが、主力事業の堅調な推移や不動産流動化に伴う利益が見込まれる。
- (4) 18年9月末の自己資本は764億円（前年同月末：684億円）となり、増加傾向が続いている。中期経営計画「Kyoritsu Jump Up Plan」（18/3期～22/3期）においては、総額1,400億円の積極的な設備投資を計画（13/3期～17/3期の実績は683億円）している。当面、自己資本の増加は続くものの、実質的な有利子負債も高水準で推移する見通しである。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

■格付対象

発行体：株式会社共立メンテナンス

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|-----|-----|
| 長期発行体格付 | BBB | 安定的 |

| 対象 | 発行額 | 発行日 | 償還期日 | 利率 | 格付 |
|---|-------|-------------|-------------|---------|-----|
| 第3回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付） | 150億円 | 2013年12月17日 | 2018年12月28日 | 利息を付さない | BBB |
| 第4回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付） | 200億円 | 2016年3月23日 | 2021年3月31日 | 利息を付さない | BBB |

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年12月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社共立メンテナンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル